

会長挨拶

コロナ禍のため過去 2 年に渡り中止となっておりました第 26 回北日本頭頸部癌治療研究会ですが、この度 3 年ぶりに開催する運びとなりました。本会を担当させていただき、大変光栄に存じております。

本研究会は 1995 年より開催されており、日ごろ頭頸部癌治療に携わっておられる先生方の交流の場であると同時に、各ご施設における治療の現状を教えていただく貴重な機会となってきました。また、10 年ごとに同じテーマについて検討を重ねてきたことで、過去から現在への治療の変遷を知り、今後の治療について考える有意義な研究会であることは疑いのないところです。

本会のテーマは「上咽頭癌」です。過去には第 6 回（2000 年）と第 17 回（2011 年）の研究会のテーマとなっており、今回が 3 回目となります。上咽頭癌は、解剖学的に根治手術が困難な部位であることに加え、遠隔転移症例が多いことから、全身薬物療法が治療における重要な位置を占めています。2011 年からの約 11 年の間に分子標的治療薬のセツキシマブや免疫チェックポイント阻害薬のニボルマブ、ペンブロリズマブが登場し、頭頸部癌における薬物療法も大きな変革期の中にあると言えます。そのような中で、各ご施設の取り組みを拝聴し、皆様の貴重なご意見を伺えることを楽しみにしております。

特別講演は山崎知子教授（埼玉医科大学国際医療センター）に「上咽頭がんと薬物療法」と題してお話いただくことになっています。昨今進歩の著しい薬物療法について、臨床に即したご講演をしていただけるものと思っております。

各ご施設には共通データの提出をお願いし、抄録集に掲載しておりますが、口演についてはそれぞれのサブテーマに沿ってご発表いただくようにいたしました。実際に経験された症例の検討など、興味深いお話が聴けるものと思います。

新型コロナの状況を考慮し、残念ながら懇親会は自粛させていただきますが、本研究会に多数のご参加を頂き、会場で熱い討論を交わしていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

第 26 回北日本頭頸部癌治療研究会

会長

弘前大学大学院医学研究科

耳鼻咽喉科学講座

松原 篤

会場案内

会場：宮城県医師会館 2階 大手町ホール

(仙台市営地下鉄東西線 大町西公園駅下車 「西1出口より徒歩1分」)

〒980-0805 宮城県仙台市青葉区大手町1-5

TEL: 022-227-1591



プログラム

テーマ「上咽頭癌」(13:00-15:35)

第1群 交替療法

座長 加納 里志 先生 (北大)

1. 旭川医科大学「当科における上咽頭癌の治療成績」

高原 幹 先生

2. 北海道大学「北海道大学病院における上咽頭癌治療—10年間(2011-2020年)のまとめ—」

安田 耕一 先生

3. 福島県立医科大学「当科における上咽頭癌の治療状況について」

川瀬 友貴 先生

第2群 再発転移への対応①

座長 長岐 孝彦 先生 (青森県立中央病院耳鼻咽喉科)

4. 岩手医科大学「当科における上咽頭癌症例の検討」

日下 伊織 先生

5. 北海道がんセンター「当科における上咽頭癌の検討」

前田 昌紀 先生

6. 東北大学「当院の過去11年間における上咽頭癌初回治療例の検討」

石川 智彦 先生

— 休憩 (14:12-14:23) —

第3群 再発転移への対応②

座長 大越 明 先生 (東北大)

7. 仙台医療センター「当院における上咽頭癌症例の検討」

石田 英一 先生

8. 秋田大学「当科における上咽頭癌の治療成績」

鈴木 仁美 先生

9. 山形大学「当科における上咽頭癌症例の検討」

八鍬 修一 先生

第4群 手術、放射線治療、その他

座長 片桐 克則 先生 (岩手医大)

10. 宮城県立がんセンター「宮城県立がんセンターにおける上咽頭癌の再発、遠隔転移症例への対応」

長谷川 航世 先生

11. 弘前大学「弘前大学における上咽頭癌症例の臨床的検討」

緑川 伸 先生

12. 札幌医科大学「札幌医科大学における過去11年間の上咽頭癌症例についての検討」

垣内 晃人 先生

イブニングセミナー (15 : 45-16 : 45)

「上咽頭がんと薬物療法」

座長：松原 篤 先生

弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座 教授

演者：山崎 知子 先生

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 教授

*本セミナーは日耳鼻専門医制度耳鼻咽喉科領域講習として1単位取得できます。

- ・専門医 IC カードを忘れずにご持参ください。従来の学術集会参加票は使用できませんのでご注意ください
- ・講習開始後のご入場または途中退出は可能ですが、単位の登録をすることはできませんのでご了承ください。